



やまなし

学校教育目標 「心豊かに学びを拓く実践人」
～人や自然を大切に、社会に学びを拓く児童の育成～



新年にあたって

校長 土屋 栄徳

あけましておめでとうございます。年の初めにあたりまして、保護者の皆様、地域の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

今日から三学期が始まりました。子供たちは、冬休み中に家庭や地域の中でそれぞれのお正月を過ごし、普段の生活では味わえない体験もできたのではないのでしょうか。

今年の干支は、「甲・辰(きのえ・たつ)」です。「甲(きのえ)」は十干の最初に位置しており、生命や物事の始まりを意味する一方で、硬い殻にこもってまだ発芽しない状態も同時に表しています。また干支の「辰(たつ)」は想像上の生き物“龍(竜)”のことを指していて、「力強さ」や「成功」を象徴していることから、新たな始まりやチャンスの兆しと考えることができます。この2つが合わさった「甲・辰」は、成功につながるための努力が種子の内側でどんどん育っていくような年だとされています。「一年の計は元旦にあり」といわれますが、充実した一年を送るためには、一年の初めにきちんと目標や計画を立てて努力することが大事だという意味を表している言葉です。子供たちには、新たな始まりやチャンスを逃さず、自分で決めた目標に向かって努力を惜しむことなく頑張りたいと願っています。

これから年度末に向けて、学年のまとめをしっかりと行い、家庭・地域とさらに連携しながら、児童の生きる力を培っていきたいと考えています。また、山梨小学校の子供たちが自信をもって次の学年へ飛躍できるように、全職員で支援してまいります。



本年もどうぞよろしくお願いたします。

